

コラージュニ俣川

小規模多機能型居宅介護 サービス評価【2015年度】

◆自己評価 事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	11	2	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	13	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	13	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	13	0	13

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・利用開始時にフェイスシートと介護計画を読み、ご家族や本人の希望を確認している。・利用初期の慣れていない時期に本人が不安にならず早く馴染めるよう頻繁に声掛けをしたり、座る席なども自然に溶け込めるよう配慮している。・送迎時の会話や連絡帳を通じてご家族と密に連絡を取り、ご本人の様子や些細な変化などもお伝えしている。・利用者ひとりひとりの情報を把握し、本人が必要なことが何かを考え、それぞれに合わせた支援をすることができた。・利用までに時間のある方については新しい情報があるたびに確認し、共有している。

改善を必要と感じる点
<ul style="list-style-type: none">① 急に利用開始になるケースなどでは利用開始前に全体のミーティングを開けないこともあり、朝の申し送り時に管理者から説明があるのみになってしまうケースがある。② 利用相談の際、管理者が一人に対応しているが、複数名での対応により問題点やニーズをより深く理解できるのではないかと。

どのように改善していくか
<p>【すぐに対応できること】</p> <ul style="list-style-type: none">① 適宜夕方送迎後の時間などに簡易的なミーティングを行っていく。 <p>【時間がかかるが、継続して対応すること】</p> <ul style="list-style-type: none">② 職員体制を整え、利用相談の際は職員同席とする。 (同席者がフェイスシートなどの記録を行う)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	10	3	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	12	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	11	2	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	13	0	13

出来ていると感じる点

- ・ケアプランに基づく対応を取り、利用者のご要望はスタッフ間で情報共有し対応している。
- ・各利用者に対して実践した内容については月一回の全体ミーティングで報告・共有し、よりより介護を全員で目指している。
- ・利用者ひとりひとりの目標をお聞きし、どのように生活を送っていけば実現するかスタッフ間で相談しながら対応することができた。
- ・利用者ひとりひとりの気持ちを理解したうえでご本人に合わせた支援をしている。

改善を必要と感じる点

- ① 本人の希望に基づいたコラージュの方針を考え、対応する。
- ② 本人の当面の目標「～したい」、本人の目標 (ゴール) を全員理解したうえで実際の介護を行っているが、書面としての各利用者の介護計画については更新時の周知が徹底されていない。
- ③ ご利用者のできている点、できていない点を明らかにすることでしたいの実現を叶える

どのように改善していくか

【すぐに対応できること】

- ① 小規模多機能型居宅介護計画書を職員とともに作成する。
- ② ミーティングの際、更新された介護計画を全員で確認し方針を周知する。

【時間がかかるが、継続して対応すること】

- ① 職員全員が介護計画書の意義をわかり、計画に添って対応する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	13	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	12	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	12	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	13	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	13	0	13

出来ていると感じる点

- ・ 食事の摂取状況や入浴・排泄時のバイタルチェック、その他の日常生活において利用者の身体に変化がないかを確認し変化がある場合は申し送りノートやミーティングで職員間で共有し、家族にも連絡帳や電話などでお伝えしている。
- ・ 利用者ができるはずの本人の能力を奪うことがないように、ひとりひとりに合わせた介助をするようにしている。
(レクリエーション時の手作業や洗濯干し、洗濯たたみ、簡単な調理など)
- ・ 気持ちの変化、体調の変化を意識して気づくことを心掛け、介護記録の特記や申し送りノートなどを通して職員間で共有し、介護に活かしている。
- ・ 利用者のご意向を知り、希望により同性介助を行なっている。
- ・ 嫌だという表情や行動を観察し、利用者本人が言えないでいることを生活歴や日常の言動などから把握し、ミーティングで言語化している。

改善を必要と感じる点

① 過剰に援助してしまい、利用者の残存能力を活かせていないケースもある。

どのように改善していくか

【すぐに対応できること】

① 利用者ひとりひとりのできること、できないこと、できそうなことを見直して職員で共有して対応していく。

【時間がかかるが、継続して対応すること】

① 全体ミーティング等で残存能力の活用という観点からも議論を重ね、可能な方には歩行訓練なども積極的に行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 19 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	12	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	11	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	13	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	12	1	13

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・利用者の生活スタイルや人間関係の理解をしご本人の生活スタイルに沿った介護を努め、交友関係が継続できるように配慮している。・食べられないものを把握して食事の提供を行なっている。(食材や形態等)・訪問時のゴミだしの援助を行なっている。(収集日、場所を確認)・周囲の方たちともコミュニケーションを取り地域のお祭りや運動会への参加し協力しながら利用者様の支援を行うことができた。・これまで利用していた、かかりつけ医の受診の継続を支援している。

改善の必要を感じる点
① ご本人、家族、介護者宅の近隣住民との人間関係の把握については不十分である。

どのように改善していくか
<p>【すぐに対応できること】</p> <p>① 近隣の方とどのような関わりをしてきたかを、利用者様本人・ご家族より聴取する。</p> <p>【時間がかかるが、継続して対応すること】</p> <p>① 利用者様とご家族のご意向を配慮しながら、近隣住民の方に、ご本人がコラージュ二俣川を利用されていることを周知していただき、いざというときの連絡などに活かしてもらう。 (自治会や行政で作成している災害時要支援者名簿の登録) (利用者ご家族の了承のもと、各自治会への利用状況の報告を行う)</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	12	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	13	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	13	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	13	0	13

出来ていると感じる点
<ul style="list-style-type: none">・公園への散歩・近くの商店への買い物、ヘアカットなど、地域の資源を使いながら利用者に合わせた柔軟な支援が出来た。・利用者本人の体調やご家族様の都合による急な通いの日程変更、宿泊・訪問の利用に対して可能な限り対応している。・希望された時に買い物や病院の受診等の外出支援をしている。

改善の必要を感じる点
① 地域資源の活用について、たくさんの資源を把握し、もっと利用者に活用できるようにしたい。

改善の必要を感じる点
<p>【すぐに対応できること】</p> <p>【時間がかかるが、継続して対応すること】</p> <p>① 役所や地域ケアプラザなどの公共機関や地域の医療機関などを通して情報を収集する。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	9	4	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	8	5	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	10	3	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	13	0	13

出来ていると感じる点

- ・近隣自治会主催の夏祭りや本社ビルに併設されている保育園の運動会、夏祭りなどのイベントにご利用者と共に参加している。
- ・利用者の友人などが事業所を訪問してくれている。
- ・会議 (サービス担当者会議・運営推進会議等) は管理者が出席している。
- ・保育園や障害施設 (放課後デイサービス) の児童の訪問がある。
- ・避難訓練の際、年 1 回は旭消防南本宿出張所に参加していただき、指導を受けている。

改善の必要を感じる点

① 会議 (運営推進会議・サービス担当者会議等) に職員が参加できていない。

どのように改善していくか

【すぐに対応できること】

① 各種会議については、管理者以外の職員も参加する。
(職員全員が会議に出席する機会を持つ)

【時間がかかるが、継続して対応すること】

② 職員の体制を整備し、複数名で外部の会議や研修会に参加できるようにする。
③ 行政に事業所に出向いて必要なことを教えていただけるように働きかける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

7. 運営

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	13	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	13	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	11	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	12	1	13

出来ていると感じる点

- ・全体ミーティングでは事業所のあり方などオープンで率直な意見が出され、議論されている。
- ・利用者や家族、介護者からの意見、苦情はすぐに特記や申し送りノートで共有し、全体ミーティングでも意見を出し合い、運営に反映している。
- ・運営推進会議を二か月に一回行い意見をいただき、運営に反映している。
- ・コラージュ二俣川の様子を伝える冊子を発行し、近隣の自治会の回覧板で回覧していただいている。
- ・ご家族やご本人からのご利用希望日を考慮し、また送迎、訪問時に駐車場所などにおいて利用者、地域の要望に応じている。

改善の必要を感じる点

① 運営推進会議では近隣の自治会長にご参加いただいているが、その他の地域の方の意見や苦情を知ることができない

どのように改善していくか

【すぐに対応できること】

【時間がかかるが、継続して対応すること】

- ① 散歩や買い物等にかけた時に近隣の方と会話できるよう働きかけ、意見を聞かせていただく。
- ② 送迎の際、利用者の近隣の方との関わることでご意見をいただく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	12	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	11	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	9	4	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	13	0	13

出来ていると感じる点

- ・ 職場外の無料研修会、AED 研修、認知症介護実践者研修、介護職員基礎研修、口腔ケアの必要性についての勉強会などのスキルアップ研修に積極的に参加し、資格取得にも努めている。
- ・ 研修のお知らせなどスタッフ全員で共有し、参加できるようにしている。
- ・ 運営推進会議を活用している。
- ・ 利用者ひとりひとりの事故や誤薬などのリスクを予測し、ミーティング等で話し合い全職員で共有し、リスクマネジメントに取り組んでいる。

改善の必要を感じる点

- ① 職場外の研修に参加した人が得た知識を共有する職場内の研修については開催できていない。
- ② 管理者がケアマネの連絡会に参加するなどしているが、その他の職員は地域連絡会などに参加できていない。

改善の必要を感じる点

【すぐに対応できること】

- ① 全体ミーティングで職場外の研修に参加した人に研修の内容をシェアしてもらう。
- ② 定例ミーティングの際、事業所内勉強会を開催する。

【時間がかかるが、継続して対応すること】

- ① 交代で地域連絡会に参加する仕組みを作る。
- ② 定期的に社内研修を行うように本社に働きかける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 29 日 (16 : 00 ~ 18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー ミーティング参加者 計 13 名

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		出来ている	改善の必要がある	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	13
②	虐待は行われていない	13	0	13
③	プライバシーが守られている	12	1	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	5	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	12	1	13

出来ていると感じる点

- ・見守りを積極的に行い、精神的に混乱しやすい宿泊時には特に傾聴を心がけ、その人を知ることで身体拘束をする必要のない介護を実践しており、虐待は行っていない。
- ・言葉での虐待、拘束等もしていないかを常に考えながら、業務を行なっている。
- ・お風呂やトイレ介助については同性介助を行っている。
- ・利用者のプライバシーの情報については他の利用者の方にも話さない。
- ・個人のファイルは施錠できる棚に保管し、荷物等は事務所で預かり、引き出しに保管することで利用者の情報が外に漏れないように徹底している。

改善の必要を感じる点

- ①利用者との会話の中で他の利用者の情報を教えてしまう場合がある。
- ②成年後見制度は利用していないが、制度について詳しく知る必要がある。

どのように改善していくか

【すぐに対応できること】

- ① プライバシー、個人情報の管理について全体ミーティング等で意識の統一を図っていく。
- ② 身体拘束、虐待は絶対にしない。
- ③ パソコンの情報が消えた場合に備え、USBメモリー等にバックアップをとり管理する。

【時間がかかるが、継続して対応すること】

- ① 必要な時に備え成年後見制度の勉強をしていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 グリーンネット	代表者	代表取締役社長 鈴木 敏男	法人・事業所の特徴	法人は二俣川駅より徒歩圏内に於いて小規模多機能型居宅介護事業所、訪問介護事業所障害者支援、及び障害児の放課後ディサービス、認可保育園を運営している。 事業所は保育園と同じビルにあり、保育園児や障害児との交流が盛んであり、近隣にはスーパーやクリニック等も多いため、利用者の外出の援助も積極的に行なっている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 コラージュ 二俣川	管理者	山内 史美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	1人	1人	0人	4人	1人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報の共有を徹底し、スタッフの誰もが同じ対応、援助ができる。	毎日の朝礼、定期ミーティングに加え、夕礼を行う。 申し送りノートを活用し、伝達の漏れをなくす。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の様式を評価しやすく作り変えたほうが良い (市町村職員の下承あり) 新規利用者の面談は職員が同席し、記録を行うと良い。 利用者の変化などの情報が共有できないと一貫性のある援助はできない。 	委員の意見を取り入れて様式を変更した。 申し送りノートを利用者の個人の情報と業務に関するものに分けて記載する。 ケアマネの利用者宅の訪問面談等にも職員が同席する。
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議の際にご利用者のスペースと会議の場を分けて行うと利用者の姿が見えない。	スペースを分けずに会議を開催ご利用者の過ごしている姿をみていただき、その様子についても意見をいただいている。	<ul style="list-style-type: none"> 部屋を分けないことでフロアが明るくなった気がする。 夜間は避難誘導しやすいようにテーブル等を配置すると良い。 	夜間は宿泊者の部屋の使用状況に合わせたテーブル等の配置を行い避難経路の確保を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域に事業所のことを知ってもらう。	地域自治会へのコラージュ通信の配布の依頼や近隣の商店等の利用により事業所を知っていただく。 事業所の特性が周知できない。	<ul style="list-style-type: none"> 地域が認知していないのでPRが必要である。 地域＝ケアプラザ圏域であるならば万騎が原地域ケアプラザにもっと足を運んで情報収集するべき。 地域の民生委員と繋がりを持つために会議の場に参加させていただくなどの地道な活動を行い、その中で利用者の事例を話す機会を 	万騎が原ケアプラザとのより良い関係をつくる。 民生委員との繋がりをつくる。 …地域のいろいろな集まりに出向いて行く。 地域の行事により多く参加する。 地域資源を引き続き活用する。

			<p>つくるようにする必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会として関わりの機会を持てるように行事の予定表を配布します。 	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み		<p>地域の商店やクリニック、美容室などを利用することで、地域の中で以前と変わらない生活を送れるように援助する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会会員の利用状況がわかると協力しやすい。（特に災害時など） 	<p>個人情報に配慮し、ご家族の了承のもとで各利用者の所属自治会や近隣住人に利用状況を伝えて情報を得られるような関係づくりを行う。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が幸せであることが一番大事なこと。 ・地域の方の心配事例は検討していないが、自治会長でも知らない範囲の情報。 ・相談を受けた方の検討なのか、漠然とした地域の心配事例なのか関わりシートの意図がわからない ・会議の際、各委員の指摘事項について前向きに取り組んでいると感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の際の各委員の指摘事項について常に改善していく。
F. 事業所の防災・災害対策	<p>有事の際に迅速に対応できる</p>	<p>定期的避難訓練を行う際、職員が演者を順番に行い、全員が体験し対応できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間想定訓練を続けて行なっているが日中は利用者が多くその場合の対応も訓練したほうが良い。 ・事業所の代表者が地域の防災訓練に参加し、防災拠点や避難経路等を職員に伝えるべき。 ・ケアプラザが地域の防災拠点なのでケアプラザの避難訓練に参加させてもらい、ノウハウを覚えてもらおうと良い。 ・有事の際はこの事業所で避難者を受け入れる可能性もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定員の多い日中の避難訓練を行う。 ・ケアプラザや地域の防災訓練に参加する。